

1 単元名 球技（サッカー）

2 目 標

- 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開できるようにする。 (技能)
- フェアなプレイを大切にしようとする事及び役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとする事などや、健康・安全を確保できるようにする。 (態度)
- チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 (知識, 思考・判断)

3 指導に当たって（男子*名, 女子*名, 計*名）

本校2年*組の生徒は、非常に明るく積極的な生徒が多い。運動意欲・能力も高く、学習したこともすぐに理解し実践できる力がある。しかし、サッカーの技能に関しては思い通りにパスやシュートを狙ったり、仲間と連携して攻撃や守備を行ったりできる生徒が少ないのが現状である。また、運動を苦手とする生徒への配慮として、基礎・基本習得の時間を継続的に確保し、ボール操作の習得を目指す。指導形態として、グループ学習を取り入れ、仲間同士で作戦を練ったり、高め合ったりする活動を通じて、コミュニケーション能力の育成も視野に入れて指導をしていきたい。

4 単元及び学習活動に即した評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ●球技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ●フェアなプレイを大切にしようとしている。 ●役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 ●互いに助け合い高め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●チームの仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ●作戦などの話合いの場面で、合意を形成するための適切な調整の仕方を見付けている。 ●球技を生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 ●空間への侵入などから攻防を展開するための状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●技術などの名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ●球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ●課題解決の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と協力して主体的に取り組もうとする。 ②練習やゲームで相手の素晴らしいプレイを認めたり、相手を尊重したりしている。 ③仲間と活動を行う上で、決めた役割に対して積極的に引き受ける姿勢をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定している。 ②健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいく。 ③豊かなスポーツライフの実現に向けて、自己に適した運動の関わり方を判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①守備者のタイミングをはずし、守備者のいないところをねらってシュートができる。 ②守備者の少ないゴールエリアに向かってトライすることができる。 ③味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ④ゴールに向かってボールをコントロールして運ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①サッカーにおいて用いられる個人の技術やチームとしての作戦や戦術の名称があることを理解している。 ②自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践があることを理解している。

5 指導と評価計画（15 時間扱い）

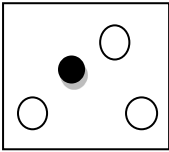
	学習のねらい・活動	評価計画			
		関	思	技	知
はじめ 50分×1	<p>○実際にサッカーの試合を通して、現段階の実力を知ろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーションを通して、学習の進め方を知る。 2 実践試合を通じて、現段階の力量を知る。 ・7vs7の試合を実際に行ってみる。 3 前年度までの復習をする。 	①			
なか 1 50分×6	<p>ねらい①</p> <p>○サッカーの特性を知ろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 サッカーの基礎的なルールについて知る。 2 新しい内容を学習する。 ・自分の課題を明確にする。 ・技術習得に向けた課題別練習を行う。 ・ワークシートを用いて学習状況を確認する。 3 3vs3, 5vs5のゲームを行う。 		②		①
なか 2 50分×6	<p>ねらい②</p> <p>○グループ編成を行い、チームで練習に取りくもう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 課題を見直し、各自の計画と立案する。 2 安全を確保し、仲間と協力的・主体的に活動を行う。 3 練習や記録の測定を行う。 4 競技会にむけて試合の運営や準備を行う。 5 ミニゲームを行う。 	②	①	②	
まとめ 50分×2	<p>○協議会を自分たちで運営し、サッカー楽しもう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 競技会の企画・係分担・ルール等を決める。 2 競技会を通して、サッカーを生涯にわたって楽しむための自己や仲間に適した関わり方を見付ける。 3 ルール・戦術・技術等の名称を確認するための小テストを行う。 4 まとめ 		③		①
					③

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

- これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定する。
- 練習やゲームで相手の素晴らしいプレイを認め、相手を尊重できるようにする。

(2) 展開 (10/15)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点, 方法
はじめ 5分	1 出欠確認をする。 2 ラジオ体操を行う。	・怪我等でできない生徒にはできる範囲で手伝いするように伝える。	
	3 用具の準備を行う。	・協力的・短縮的に準備するよう声をかける。	
なか 35分	4 ドリルゲームをする。 ・他チームと協力して対面パスを行う。 ・3vs1で守備者を付けたボール回しを行い, 基礎技術の習得とよりよい判断を心掛けるようにする。 	・基礎技術習得のために, 毎時にドリルゲームを行い, パスやトラップ, ドリブル等の練習をするように伝える。 ・実践的に守備者をつけてパスを出した後に次のパスを受ける動きを指導する。 ◇タッチ制限を付けたり, 人数を増やしたりしてパスコースを多くつくるように助言する。 ① ボール中心に見るのではなく, ピッチの状況を確認し, 空いている空間に走れるように声をかける。	<関心意欲態度②> (学習時の観察)
	5 ゴール前での3vs2を行う。 ・空いている空間や味方が動いてできた空間を利用して攻めるようにする。	◇ボールだけでなく, 首をふって周囲の状況を把握するように助言をする。	
	6 チーム対抗シュート練習を行う。 ・ゴールには, 区切りをつけて自分が狙ったところにうまく蹴れるようにする。	・チームごとに作戦を立てるように指導する。また時間を区切って順位をつける。 ◇距離やあえてバウンドしたボールから初めて, 足にボールが当たる感覚を身に付けるようにする。	
	7 ミニゲームをする。 ・5VS5のミニゲームを行い, ボールに触れる回数を増やす。	・本時の内容をゲームで発揮するように助言する。試合がうまくいかないときには, フリーマン等をつけて数的優位を作るように指導する。	
まとめ 10分	8 片づけを行う。 9 整理運動を行う。 10 学習カードの記入を行い, 次時の目標の設定と今日の反省を記入する。	・全員で行うように助言をする。 ・本時の学習を振り返り, 次時のめあてを記入させる。	<思考・判断①> (ワークシート)

◇は努力を要する状況にある生徒への手だて